

公益財団法人ウェスレー財団活動報告

2017年度（2017年4月～2018年3月）

(A) 総務事項

1. ウェスレー財団設立評議員のお一人として、これまでご奉仕くださった日野原重明評議員が、2017年7月18日に召天のため評議員を退任した。評議員の補充は行わなかった。
2. 定例理事会は、2017年5月29日及び2018年3月7日に開催され、審議事項はすべて承認された。また、定例評議員会は、2017年6月13日に開催され審議事項はすべて承認された。
3. 内閣府に以下の報告を行い、いずれも審査は完了した。
 - ① 2016年度事業報告等（2017年6月29日）
 - ② 役員及び評議員の報酬ならびに費用に関する規程」の変更（2017年6月13日）
 - ③ 日野原重明評議員退任（2017年8月16日）
 - ④ 2018年度事業計画等（2018年3月30日、修正4月26日）
4. 日本キリスト教協議会（NCCJ）に准加盟を申請し、2018年3月19～20日に開催の第40回総会で承認された。同時に、小海代表理事は副議長（任期3年）に選任された。
5. 青山5丁目住宅に居住していたアルトマン氏が2017年4月に召天された。ご遺族が提訴を引き継がれなかった為、訴訟の対象は、現在も青山5丁目住宅に居住している2家族となった。裁判官による調停が過去5回行われ、現在立ち退き条件の最終交渉中である。
6. 事務局
 - ① 本年度は、フルタイム職員4名及び翻訳担当のパートタイム職員1名の計5名体制で業務を行った。2017年3月末で契約満了となったフルタイム職員4名に対し、2017年4月から2年間の契約更新を行った。また、2018年3月末にて、プログラム担当フルタイム職員1名およびパートタイム職員1名の計2名が退職した。2018年度の職員体制は、フルタイム職員3名及び4月1日付けで雇用した翻訳担当のパートタイム契約職員1名の計4名体制となる。
 - ② フルタイム職員及び常勤役員は、原則として毎月最終水曜日にスタッフミーティングを行い、デボーションと連絡調整を行った。

(B) 公益目的事業

1. ウェスレーセンター管理事業

小海代表理事は、ビル全体を管理する南青山パークハウス・ウェスレーセンター管理組合第8期の理事（会計担当）として、定期的に理事会に出席し、ビル全体の管理運営を行った。2018年1月29日に開催された総会で、第9期理事として金澤職員が選出され、副理事長としてビル全体の管理運営にあたる。

(1) ユースサマーキャンプ in USA : Youth Summer Camp in USA 7/22-7/31

参加者数 : 88 人、うち日本から 9 人 (女子 5 人、男子 2 人、スタッフ 2 人)

合同メソジスト教会カリフォルニア教区主催の高校生キャンプ。本年のテーマは Rooted で、参加者は「アジア系アメリカ人」には多様な背景や文化があることを学んだ。また、キャンプでの話し合いや取組みを通じて、対人関係の取り方や対話の方法を学んだことで、キャンプ中に身近なことから取組みを始めて、より良い社会の形成を志す者へと変化していく様子が見られた。

(2) (共催) 日独ユースミッション 2017 日独協会青年交流 7/23~8/8

参加者数 : 400 人、うち日本からの参加者 : 15 人 (12~25 歳)

毎年、日本基督教団とドイツ教会との間で行われてきた日独ユースミッションを今年も、ドイツ人家庭でのホームステイ、宗教改革 500 周年記念国際ユースキャンプへの参加などのプログラムで実施し、ウェスレー財団が共催した。ホームステイは異文化とコミュニケーションを学ぶよい機会となった。また、16 歳以上の参加者は世界各地より集まった 300 人以上の青年とのキャンプを通じ、16 歳以下の参加者は 80 人余りのドイツの子どもたちによるボーイスカウト・キャンプへの参加を通じ、ドイツを含め世界各地の青少年と交流し、国際的な視野を広げることができた。

(3) 韓国で平和を考える研修 : Peace Seminar 8/17-8/21

参加者数 : 19 人、うち日本から 10 人 (参加者 7 人、インターン 1 人、スタッフ 2 人)

日本、韓国、中国の 20 代の女性たちが、韓国で、歴史、紛争、軍事、女性への暴力などの視点から考察や意見交換を行うことで、平和構築について考えることを目的とした研修。多角的な視点から平和を考えるよい機会となった。聖書研究、毎日の振り返りのほか、自由時間や食事などでの交流を通して、異文化交流を行うことができ、参加者にとって将来の学びや国際的な視野の形成に役立った。実施にあたり、韓国の Scranton Women's Leadership Center の協力があつた。

(4) アジア女性のためのリーダーシップ研修 (18~35 歳) :

Young Asian Women's Leadership Development & Dialogue in Indonesia 2/1-2/7

参加者数 : 45 人 (参加者 37 人、スタッフ・講師 8 人)

うち日本から 8 人 (参加者 5 人、インターン 1 人、スタッフ 2 人)

18~35 歳までの女性を対象にしたリーダーシップ研修で、テーマは Be a Peacemaker。平和を担う女性リーダー育成を目的として、講義と文化交流や地域訪問を行った。参加者は、自国の女性の状況と社会的な課題を事前に調べ発表した。過去 2 回のインドネシア人セミナー参加者が、今回は受入れチームとしてリーダーシップを発揮している様子を見ることもできた。日本、韓国、カンボジア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、台湾、香港、シンガポール、マレーシアの計 10 カ国から参加があつた。

(5) ワークスタディーキャンプ in フィリピン : Work Study Camp 2/21~26

参加者数 : 11 人 (キャンパー女子 7 人、男子 2 人、スタッフ 2 人)

マニラ首都圏に隣接するリサール州の少数民族のコミュニティーでヘルスセンターを建設するための作業を行った。コミュニティーの人々と協働することで、文化や社会背景などを学び、また異文化体験を通して、国際相互理解を深めることが出来た。キャンプ中には、かつて日本で働いていたフィリピン女性労働者たちとその家族への

(4) 東日本大震災支援事業

合同メソジスト教会救援対策部(UMCOR)拠出による、東日本大震災プロジェクトのモニタリング（現地訪問、事業への参加、担当者との面談）を行った。2014年に始まった15のプロジェクトは11がすでに終了済みであるが、今年度新たに3つが終了し、残り1つは延長申請を行うこととなった。また、今年度新たに拠出された防災に特化した2つのプロジェクトに関しては、国際会議でプロジェクトが主催したセッション等に参加し、成果を確認した。

4. 支援金事業

2017年度支援金事業は、19団体からの申請があり、2017年1月18日及び2月13日に開催された支援金交付選考委員会にて、14団体への交付が決定した。支援金交付額は、合計6,896,057円であった。